2026 年 11 月 27 日
日本空港ビルデング株式会社

羽田空港で再び公開
日本の空を切り拓いた飛行家たちの功績を伝える
「Harmon（ハーモン） Trophy（トロフィー）」を展示



日本空港ビルデング株式会社は、第 1 ターミナル 5 階特設会場で開催中の歴史企画展「THE HISTORY OF HANEDA 空がつなぐ。」において、日本の空を切り拓いた飛行家たちの功績を伝える「Harmon Trophy (以下、ハーモン・トロフィー)」を 11 月 30 日（月）から展示します。
歴史企画展「THE HISTORY OF HANEDA」シリーズは 2023 年から展開しており、累計 44 万人を超えるお客さまにご来場いただいています。今回展示するハーモン・トロフィーは、1955 年に開館した旧羽田空港ターミナル（旧称：東京国際空港ターミナルビル）の「航空教室」で展示されていたもので、この度羽田空港で再び公開するものです。

ハーモン・トロフィーは、1926 年にアメリカの飛行家クリフォード・B・ハーモンが創設した国際的に権威ある航空賞です。大西洋単独無着陸飛行を成し遂げたチャールズ・リンドバーグをはじめ、航空史に名を刻む飛行家たちが受賞し、「空のノーベル賞」とも称されてきました。その後、宇宙飛行士も表彰の対象となり、人類初の月面着陸を果たしたアポロ 11 号の乗組員も受賞しています。

今回展示するのは、ハーモン・トロフィーの一部門として当時の国際飛行家連盟に参加していた 21 か国に設けられた「ナショナル・トロフィー」のうち、日本に贈られたものです。1928 年には、初の日本人受賞者である安辺浩氏への授賞式が行われ、その後も、日本の優れた飛行家たちの名を刻みながら、その功績を後世に伝えてきました。

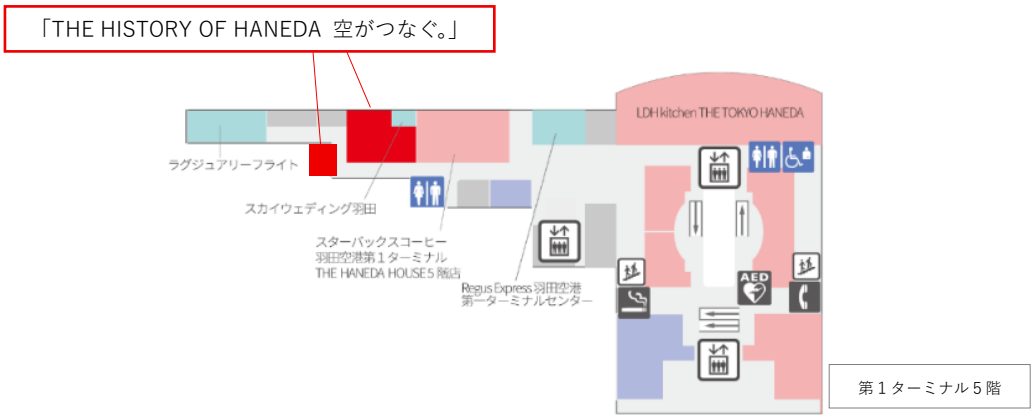
翼を広げた人物像と地球儀を配したブロンズ像の台座には、「JAPON（日本）」の文字と、1926 年から 1935 年に受賞した 9 人の飛行家の名が刻まれています。長距離飛行や定期航空、郵便飛行など、日本の民間航空の礎を築いた挑戦を今に伝える貴重な歴史資料です。

本展示では、台座に刻まれた 9 人の飛行家たちの足跡を通じて、日本の空を切り拓いた先人たちの挑戦と功績を紹介します。さらに、そうした挑戦の積み重ねが今日の空の旅や航空ネットワーク、そして人と地域をつなぐ未来へと受け継がれていることをお伝えします。

企画展概要

■名　　称：THE HISTORY OF HANEDA 空がつなぐ。
■展示期間：2026 年 11 月 30 日(月)～2027 年 3 月 31 日(水)　予定
■時　　間：10：00～16：00　（入場無料）
■会　　場：第 1 ターミナル 5 階　「THE HANEDA HOUSE」内 特設会場
■追加展示：ハーモン・トロフィー、旧ターミナル関連のパンフレットなど
■主　　催：日本空港ビルデング株式会社
■特別協力：NPO 羽田航空宇宙科学館推進会議
■協　　力：日本航空株式会社、全日本空輸株式会社、スカイマーク株式会社、株式会社 AIRDO、
株式会社ソラシドエア、株式会社スターフライヤー、京浜急行電鉄株式会社、
東京モノレール株式会社、株式会社梓設計、株式会社丹青社、DAIKEN 株式会社、
株式会社 SJOY、株式会社スーパーメイト、コスモヘルス株式会社、内外地図株式会社、
一般社団法人日本航空協会、上里町立郷土資料館、株式会社ムーブエイト、
村田尚之（カメラマン）

（順不同）







展示会場の様子

※展示内容は、予告なく変更になる可能性があります。

本件に関するメディアからのお問い合わせ：
日本空港ビルデング株式会社 広報部 広報課 TEL：03-5757-8030 9:00–17:30（土日祝除く）